



沿岸部と内陸、東日本大震災と 2008年に発生した岩手・宮城内陸地震の2つの被災地をめぐる。

5年前の岩手・宮城内陸地震では、山体崩壊の跡に希少な地形が現れ、「荒砥沢ダムの上流崩壊地」は日本の地質百選に選定されました。しかしその後、この貴重な地域資源は復興の名のもとにコンクリートに覆われてしまいました。また、世界有数の豊かな漁場であり、たぐいまれな景観を持つ東北沿岸部では、海が見えなくなるほどの巨大な防潮堤建設の予定が立てられ、今その是非が問われています。これら2つの被災地を訪ね、復興の在り方を考えることで私たちの未来を見つめてみたいと思います。災害の現場や参加者同士、共に学び共に語る3日間です。

見る、感じる、対話する。

東北、 2つの被災地から、 未来を見つめる旅

東北被災地をめぐるモニターツアー

このプログラムは、災害教育の調査事業の一環として実施するものです。参加の方には、本プログラム終了後、アンケートのご協力をお願いします。プログラム中の様子を撮影した写真・動画および参加者の感想等は、RQ災害教育センターのプロモーション活動で使用させていただく可能性があります。

期間 2013年 2/15 (金) ~ 2/17 (日) ・ 2泊3日

参加費 20,000 円 ※現地までの交通費、初日の昼食代、飲み物代別途
 募集人数 / 20名 (最小催行人数 8名)

スケジュール

1日目 / 11時集合 (石巻駅) ~ 石巻市雄勝地区 ~ 南三陸町 (平成の森泊)

2日目 / 南三陸町 ~ 手のひらに太陽の家 (登米市) ~ 栗原 (文字温泉さくらの湯泊)

3日目 / 栗原 ~ 荒砥沢ダム ~ 昼食 ~ 14時頃解散 (くりこま高原駅予定)
※天候等により変更になる可能性があります

スタッフ コーディネーター / 佐々木豊志 (くりこま高原自然学校代表・RQ災害教育センター理事)

講師 / 松波孝治 (京都大学防災研)
 粕倉克幹 (基礎地盤コンサルタンツ)、ほか

お申し込み サイトからお申し込みください。
<http://www.rq-center.jp/news/857>
 お問い合わせ : 090-6065-2264 (担当 / 八木)



主催 / 一般社団法人 RQ 災害教育センター
 協力 / くりこま高原自然学校、日本エコツーリズムセンター、ほか